



防災学習

あの日、何が起こったのか？

あの日を忘れない。

2024. 12.16(月)

年 組 番 名前)

私は三好さんの話を聞いて思ったのは、震災が起きても絶対生きてほしいということです。阪神淡路大震災で亡くなった方が今生きていたら何歳になっていたというのはよく考えられている事ですが、生きるはまた残りの人生でできることはたくさんあはずです。私の大切な人達とはこれからたくさんしたいことがあります。だからそのためにも自分のできることの最大限をして今の幸せを守りたいです。



防災学習

あの日、何が起こったのか？

あの日を忘れない。

2024. 12.16(月)

年 組 番 名前)

小学生のときから地震について学習はしていたけど、みよしさんの話や資料や動画などで、改めてとても怖くなりました。火事の話とけむりのあがっている写真が特に印象に残って、ゆれだけじゃないんだと思いました。南海トラフが来たときのために、家で避難場所の確認や家族との連絡のとり方をもう一度しっかり話したいと思いました。





防災学習

あの日、何が起こったのか？

あの日を忘れない。

2024. 12.16(月)

年 組 番 名前)

神戸新聞が新聞を出せなかった事が無い事はすごいと思いました。
三好さんの話の内容がとても深く、すごく分かりやすかったです。
地震のゆれがとてもすごくておどろきました。1人1人が震災の事を語りついでいく事がとても大切だと思いました。



防災学習

あの日、何が起こったのか？

あの日を忘れない。

2024. 12.16(月)

年 組 番 名前)

三好さんの話をきいて、亡くなった方たちのことを忘れず私たちよりも若い人たちに語りついでいこうと思いました。地震や火事ではなく災害関連死という、みんな所で亡くなってしまった方もいるということも知って、家族に何か持病を持っていて、薬が必要な人がいるかきこうと思いました。





防災学習

あの日、何が起こったのか？

あの日を忘れない。

2024. 12.16(月)

年 組 番 名前)

私は思ったより被害が大きかったことが分かりました。
実際に大画面で見るとはあまりないのでとても怖くなりました。
でも、当時こんなことになっていたのだと考えると、上手く
その場で起きていることを飲み込めませんでした。次、
南海トラフ巨大地震がおこっても生き残れるように準備
しておきたいです。



防災学習

あの日、何が起こったのか？

あの日を忘れない。

2024. 12.16(月)

年 組 番 名前)

今回の防災学習で地震だけでこんなに人の生活が一変するん
だなと地震の悲惨さをあらためて感じました。
若者がこれから震災を語りついでいかないと
阪神・淡路大震災のような結果になると
考えました。





防災学習

あの日、何が起こったのか？

あの日を忘れない。

2024. 12.16(月)

年 組 番 名前)

少し油断をするだけで命を失ってしまうこともあると
実感しました。また、当時のラジオを聞いて、
声のトーンだけで彼は恐怖を感じていることも分か
り、本当に苦しい時期だったことを改めて思いました。
私が今、次の世代にこれを伝えるよう、何をすれば「良い
のかを深く考えます。



防災学習

あの日、何が起こったのか？

あの日を忘れない。

2024. 12.16(月)

年 組 番 名前)

今日の学習をして阪神淡路大震災のような大きな災害を決して忘れることのない
し、かりと後世に伝えていくことが大切だと思います。また今では実体験を語って
くれる人はまだ少なくはなっていないけれど、1人1人がしっかりと頭において、覚えておく
(忘れない)ことが大切だと思います。そして自分たちが経験していなくてもいずれ
経験することなのでしっかりと備えることが大切だと思います。





防災学習

あの日、何が起こったのか？

あの日を忘れない。

2024. 12.16(月)

年 組 番 名前)

震災について改めて知った。身近ではあるが、どこかで本当に地震や津波がくるのかもしれない。写真や音声を聞いて実感した。「明日がこないことを。けんがして
いる家族や友達ともう二度と話せないことを。そして、私達が『語り継いでいくこと』を。これからくるかもしれない「南海トラフ」。自分の命を守り、次の世代へ伝えていきたい。



防災学習

あの日、何が起こったのか？

あの日を忘れない。

2024. 12.16(月)

年 組 番 名前)

私は、震災についての勉強をして、私達が未来に震災についてを教えていかなければいけないんだ、と思いました。誰も、震災について語らなかつたら震災でなくなった方の存在がきえてしまうんだと気づきました。「もと生きたかった。未来も生きれず自分の体たて、骨になり消えてしまうんだ。」と、そんな悲しい気持ちにならなように、私達が震災であった出来事を、次の子たちに、語りついでいこうと思えました。





防災学習

あの日、何が起こったのか？

あの日を忘れない。

2024. 12.16(月)

年 組 番 名前)

今までは、地震の話がされても正直他人事だと思っていました。でも地震が起きる直前まで、皆いつも通りに生活していたのを見て、いつ自分の身に起こるか分からないと改めて感じました。こうやって書いている間や明日のことを考えている間、ぐっすり眠っている間にも大きな地震が起こってもおかしくなる。

経験したことないからといって、この先も経験せよに人生を終えるなんて、ほぼ不可能だと思います。今日家に帰ったら、この学習で学んだことを思い出して、防災バッグの中身を改めて確認してみようと思います。自分の命は自分で守り、大切な人達を守れるようになりたいです。



防災学習

あの日、何が起こったのか？

あの日を忘れない。

2024. 12.16(月)

年 組 番 名前)

「SNS(Xなど)によるデマやフェイクニュースが大きな地震が起こる度に発信・拡散されている」という話を聞いて、インターネットの情報は信じすぎず、正しい情報かどうかよく見極めることが大切だと思った。改めて、地震に日頃から備えておくことと、震災を経験していなかったとしても皆で語り継ぐことの大切さを感じた。





防災学習

あの日、何が起こったのか？

あの日を忘れない。

2024. 12.16(月)

年 組 番 名前)

阪神・淡路大震災や能登半島地震で、「今、何が起きているのか」「どうすれば
良いのか」が分からない時だからこそ助け合いが大切だと思った。新聞社の人達
にも大切な家族がいる中、市民の人々のために働いた。SNSに写る「デマ」や
「フェイクニュース」は混乱させてしまうので良くない。
このことも含めて、次の世代へ「バトン」をつなぎたい。



防災学習

あの日、何が起こったのか？

あの日を忘れない。

2024. 12.16(月)

年 組 番 名前)

新聞にのせる物でも、普段より人の気持ち
を考えたりすることが自分のことで精いっぱい
はずなのになすこいと思いました。
亡くなった人が多い、少ない関係なく、この震災が
あったことやこの震災で起きたことなどを伝えて
いくことが大切だと改めて感じました。





防災学習

あの日、何が起こったのか？

あの日を忘れない。

2024. 12.16(月)

年 組 番 名前)

良く聞く単語は、「ライフライン」で、水、電気、ガスの三つの
生きるために必要なもの。これは、安心安全に近い
ものであると考えました。震災が起こったとき、
住民は、新聞を頼りにしているから、誤った情報は
記事には載せられない。そのため、SNSに誤った情報を
拡散しないことを国民も協力しなければならぬのだ。



防災学習

あの日、何が起こったのか？

あの日を忘れない。

2024. 12.16(月)

年 組 番 名前)

今日、防災学習をして、地震が起こった後、どんなことがある
のか、どんなことが大切なのか、学ぶことができました。例えば、
SNSではデマやフェイクニュース、また、ボランティア文化の衰えによる
支援の遅れなどがあげられます。こうした中、一歩一歩の災害に
は教訓があるため、継続して伝える。私たちが語り継ぐこ
とが大切だと学びました。





防災学習

あの日、何が起こったのか？

あの日を忘れない。

2024. 12.16(月)

年 組 番 名前)

震災の話を聞いて体験していない私達が次の世代に語り継ぐことが大切なんだと思いました。

地震が起きた時に生きていても地震後に体調不良や食料不足、自殺等で七くなってしまうという話が印象的でした。



防災学習

あの日、何が起こったのか？

あの日を忘れない。

2024. 12.16(月)

年 組 番 名前)

今日『防災学習』をみて災害は怖くてとめられないものだけど備えが大切だと思いました。その備えをするために、私たちが被災者の方々から伝えられた事をまた次の世代へとつないでいくということが必要だと思いました。





防災学習

あの日、何が起こったのか？

あの日を忘れない。

2024. 12.16(月)

年 組 番 名前)

ルミリエなどの建築物が復興を願うものを知った。「害を語継」
のは大勢が難しいとも思った。場所がどうも絵がない時間も
ないと思った。地域のボランティアに参加する必要があると感じた。だが、
積極性がないと語継にならなれないと思った。



防災学習

あの日、何が起こったのか？

あの日を忘れない。

2024. 12.16(月)

年 組 番 名前)

防災学習は、小学校の時もたくさんあったけど三好さんの話はまた
違う視点からの内容で当時の被害についてや貴族の方の気持ちなどなく新聞社
の方の行事や各地のの様子など詳しいことまで知りました。
また「神戸新聞の9日間」をみて編集者やカメラマンの方々が大変なとき
でも、読者のために働く姿がとてよからよかったと思いました。

